

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2022年7月～9月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2022年7～9月期の業況/2022年10～12月期の業況予想

今回の調査実施時期

2022年9月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	59先
建設業	23先	不動産業	17先

調査方法

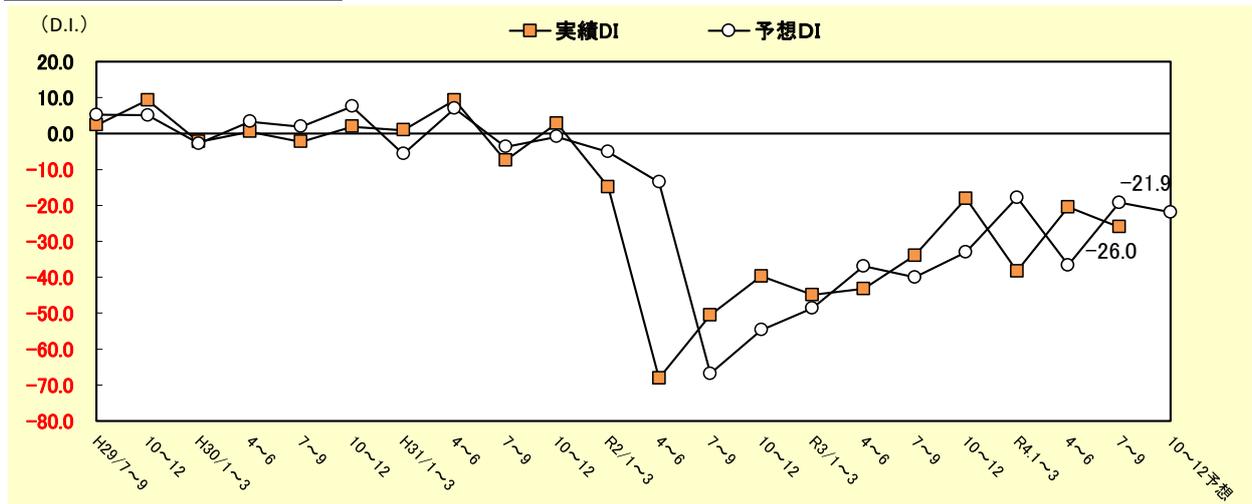
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



業種別天気図

表の見方



	7~9月期実績				10~12月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲26.0	▲29.7	▲17.9	▲35.0	▲21.9	▲27.5	▲13.1	▲27.5
製造業	▲22.5	▲25.0	▲20.0	▲20.0	▲25.8	▲37.5	▲20.0	▲10.0
小売業	▲40.0	▲57.6	▲15.3	▲62.5	▲36.6	▲50.0	▲19.2	▲50.0
卸売業	▲28.0	▲33.3	▲20.0	▲33.3	▲28.0	▲22.2	▲20.0	▲50.0
サービス業	▲25.0	▲14.2	▲32.1	▲50.0	▲18.3	▲14.2	▲17.8	▲50.0
建設業	▲4.5	0.0	11.1	▲25.0	▲4.5	0.0	11.1	▲25.0
不動産業	▲11.7	▲14.2	0.0	▲25.0	11.7	0.0	16.6	25.0

7月～9月の県内経済概況

2022年7月～9月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲26.0となり、前期比5.6ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲22.5となり、前期比9.7ポイント上昇、小売業は▲40.0となり、前期比5.0ポイント下降、卸売業は▲28.0となり、前期比4.0ポイント上昇、サービス業は▲25.0となり、前期比10.0ポイント下降、建設業は▲4.5となり、前期比18.1ポイント下降、不動産業は▲11.7となり、前期比17.5ポイント下降となっています。

地域別では、別府市が▲29.7となり、前期比2.2ポイント下降、大分地区が▲17.9となり、前期比4.8ポイント下降、県北地区が▲35.0となり、前期比15.0ポイント下降となっています。

業種別景況

製造業

● 当期(7月～9月)の景況

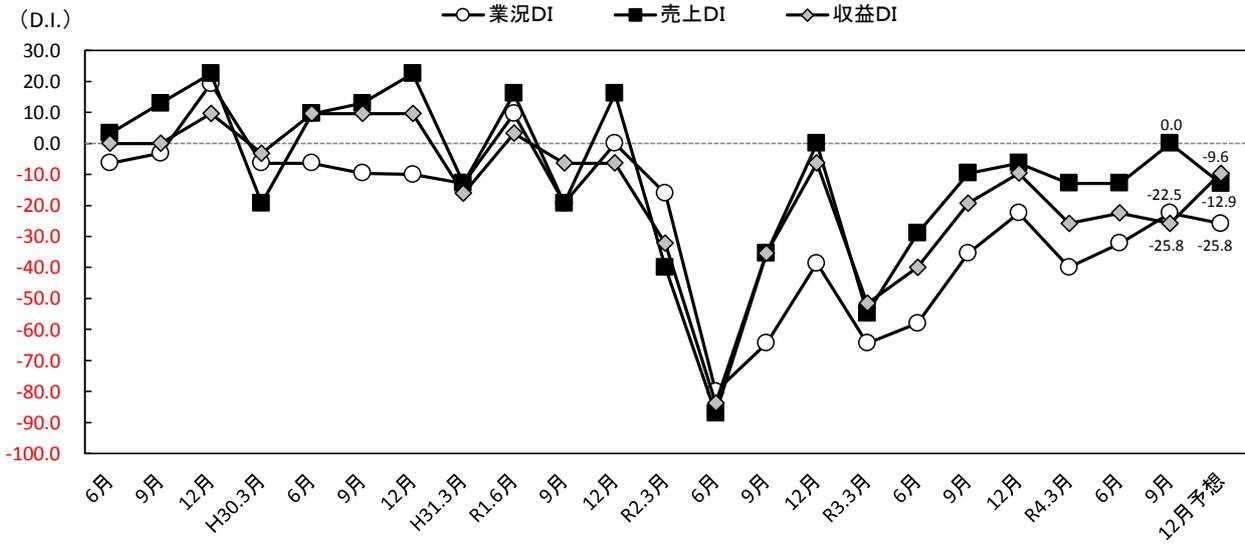
全域における業況DIは▲22.5となり、前期比9.7ポイント上昇、前年同期比12.9ポイント上昇となっています。売上DIは0.0となり、前期比12.9ポイント上昇、前年同期比9.6ポイント上昇となっています。収益DIは▲25.8となり、前期比3.3ポイント下降、前年同期比6.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲25.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期比18.7ポイント上昇、大分地区が▲20.0となり、前期と同水準、前年同期比40.0ポイント上昇、県北地区が▲20.0となり、前期比10.0ポイント上昇、前年同期比10.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲25.8となり、今期比3.3ポイント下降となっています。売上予想DIは▲12.9となり、今期比12.9ポイント下降となっています。収益予想DIは▲9.6となり、今期比16.2ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲37.5、大分地区が▲20.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

原材料高	30.8%
売上停滞・減少	14.7%
利幅の縮小	7.3%
同業者間の競争激化	5.8%
工場・機械の狭小・老朽化	5.8%

最重要経営施策

販路拡大	22.0%
経費節減	15.2%
新製品・技術開発	10.1%
人材確保	10.1%
情報力強化	8.4%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・砂糖の値上げや電気代の値上げが発生し、費用が増加した。
- ・夏休み期間であったため売上げは増加した。
- ・新商品の開発を行う予定である。
- ・年々業況は右肩上がりて推移している。しかし、製造における原材料費の高騰が打撃となっている。
- ・揚げ物用の油が高騰している。
- ・鋼材の仕入価格が上昇している。
- ・半導体不足が続き、売上の見通しが立てにくい。

小 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

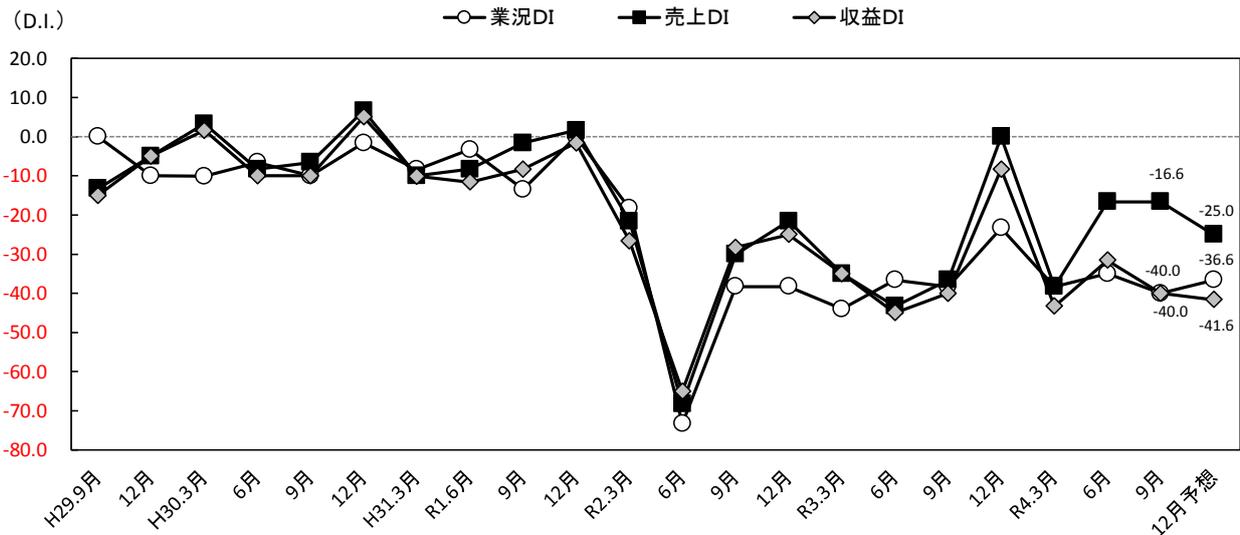
全域における業況DIは▲40.0となり、前期比5.0ポイント下降、前年同期比1.7ポイント下降となっています。売上DIは▲16.6となり、前期と同水準、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲40.0となり、前期比8.4ポイント下降、前年同期と同水準となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が▲57.6となり、前期比3.9ポイント上昇、前年同期比3.9ポイント上昇、大分地区が▲15.3となり、前期比7.7ポイント下降、前年同期比7.7ポイント上昇、県北地区が▲62.5となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比50.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲36.6となり、今期比3.4ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲25.0となり、今期比8.4ポイント下降となっています。収益予想DIは▲41.6となり、今期比1.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲50.0、大分地区が▲19.2、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	19.4%
仕入先からの値上要請	13.6%
同業者間の競争激化	13.6%
利幅縮小	10.7%
大型店競争激化	7.9%

最重要経営施策

経費節減	89.7%
宣伝・広告強化	48.7%
売筋商品取扱	46.1%
品揃え改善	33.3%
特になし	23.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・売上が伸び悩んでいる。SNS等利用して商品の魅力をアピールしていきたい。
- ・仕入価格が高騰している。今後、販売価格等を検討していく。
- ・新型コロナウイルスの影響により、コロナ前の売上に戻らない状況である。現在は固定客中心に営業しており、新規客は増えていない。
- ・コロナ禍ではあるが、売上は以前に比べて多少回復している。外的要因により、商品に付随する紙箱やラップ、包装紙の仕入値が上昇しており、利益を圧迫している。
- ・新型コロナウイルスの影響で飲食店からの受注が減少した。今後も影響が続くと思われる。
- ・猛暑の影響で花の価格が上昇しており、花の仕入値が例年より2倍程高い。
- ・夏に値上げを実施した。売上は横ばいであり、仕入値が高騰して厳しい状況である。
- ・売上は回復傾向である。パーティ等のイベントが再開されてきており参加者も多くなってきている。
- ・業況は安定推移している。営業店舗の来店数も日に日に増えてきており売上増加が見込める。
- ・売上は減少傾向であり厳しい状況が続いている。少しずつイベントは始まっているものの業況は変わらず良くない。

卸 売 業

● 当期(7月～9月)の景況

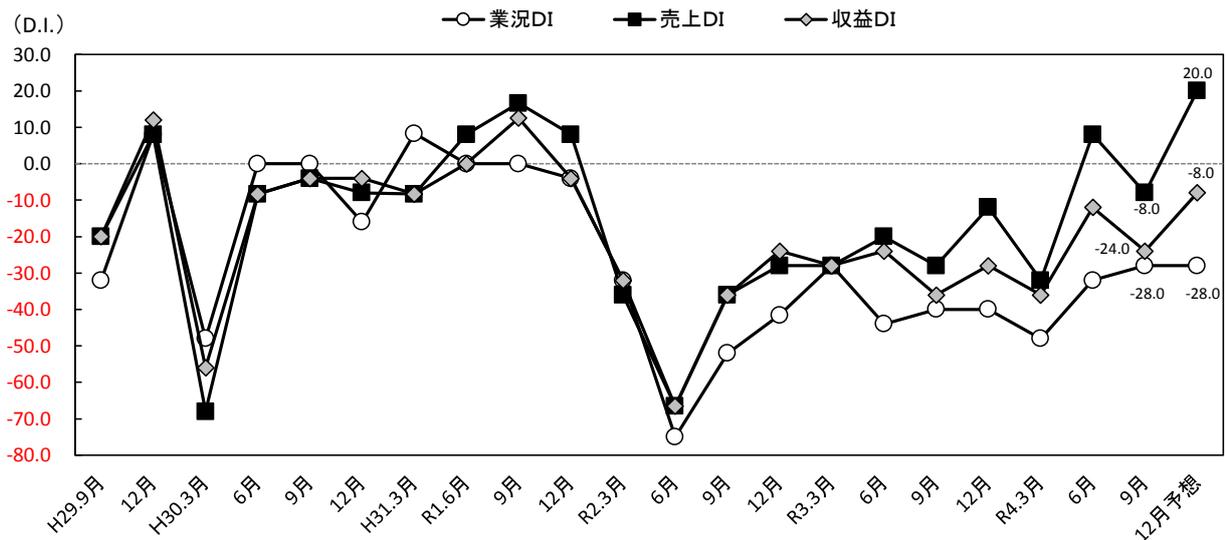
全域における業況DIは▲28.0となり、前期比4.0ポイント上昇、前年同期比12.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲8.0となり、前期比16.0ポイント下降、前年同期比20.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲24.0となり、前期比12.0ポイント下降、前年同期比12.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲33.3となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が▲20.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比40.0ポイント上昇、県北地区が▲33.3となり、前期と同水準、前年同期比16.7ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲28.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは20.0となり、今期比28.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲8.0となり、今期比16.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲22.2、大分地区が▲20.0、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

仕入先からの値上要請	19.2%
売上停滞・減少	19.2%
同業者間の競争激化	17.3%
利幅縮小	13.4%
販売商品不足	5.7%

最重要経営施策

経費節減	35.8%
販路拡大	20.5%
情報力強化	15.3%
特になし	10.2%
提携先探す	5.1%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・インバウンド需要が回復するまでは売上は厳しい。
- ・今年も不漁が続いており、原材料が入っておらず困っている。
- ・取引先は飲食店が主であり依然として売上が伸び悩んでいる。しかし、社内にて働きやすさの向上を図っており社員の士気は高まってきている。
- ・業況自体は安定しているものの、取引先でコロナ感染者が増加しており、売掛金の回収が難航している。
- ・現状、大きく業況に影響するものはないが、取扱商品の需要が少しずつ減ってきているためその対応を考えたい。
- ・仕入値の上昇により利益確保が難しくなりつつある。販売価格に転嫁出来ている部分もあるが、仕入値の値上げ幅が大きく厳しい状況である。

サービス業

● 当期(7月～9月)の景況

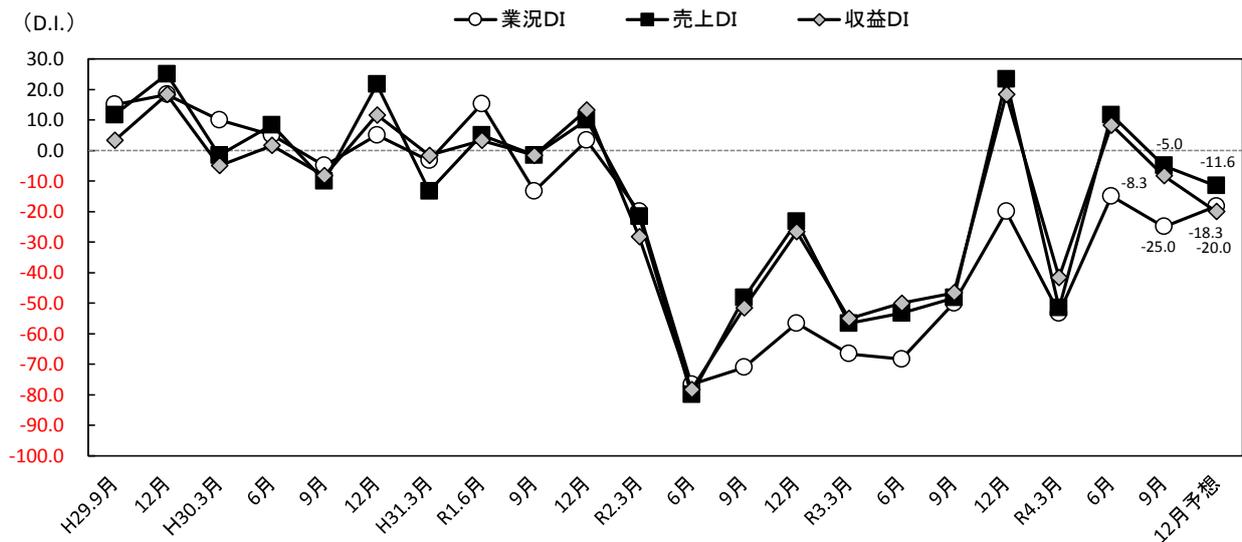
全域における業況DIは▲25.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント上昇となっています。売上DIは▲5.0となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比43.3ポイント上昇となっています。収益DIは▲8.3となり、前期比16.6ポイント下降、前年同期比38.3ポイント上昇となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲14.2となり、前期比7.1ポイント下降、前年同期比50.0ポイント上昇、大分地区が▲32.1となり、前期比14.3ポイント下降、前年同期比3.6ポイント下降、県北地区が▲50.0となり、前期と同水準、前年同期比50.0ポイント上昇となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲18.3となり、今期比6.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲11.6となり、今期比6.6ポイント下降となっています。収益予想DIは▲20.0となり、今期比11.7ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲14.2、大分地区が▲17.8、県北地区が▲50.0となっています。



経営上の問題点

材料価格の上昇	17.3%
売上停滞・減少	13.3%
同業者間の競争激化	12.5%
人手不足	10.2%
店舗・設備狭小・老朽化	7.0%

最重要経営施策

経費節減	18.1%
販路拡大	12.3%
宣伝・広告強化	9.9%
店舗・設備改装	9.9%
人材確保	8.2%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・新型コロナウイルス第7波以降は、売上の減少が続いており、コロナ前の売上に戻っていない。
- ・脱コロナに向けた取り組みを行い、宿泊客は増加の見込み。
- ・店舗をリニューアルし、業況は改善している。
- ・外国人労働者(技能実習生)を積極的に雇用している。
- ・夏休みでホテルの売上が上昇し、それに伴いこの3か月間はメンテナンスの受注が増加した。それでもコロナ前と比較すると20%以上減少している。
- ・業況は回復傾向であり、SDGs関連の動きも少しずつ取り入れてきている。
- ・事業の立て直しに向けて、一部飲食部門を閉鎖する方向である。
- ・業態的に新型コロナウイルスの影響を受けにくく、売上は横ばいとなっている。販売拡大に向けた取り組みを実施している。
- ・新型コロナウイルスの影響をかなり受けており、宿泊者は減少傾向である。
- ・業況は前期と比較しあまり大きな変化はない。新型コロナウイルスの影響と材料価格の上昇が問題である。

建設業

● 当期(7月～9月)の景況

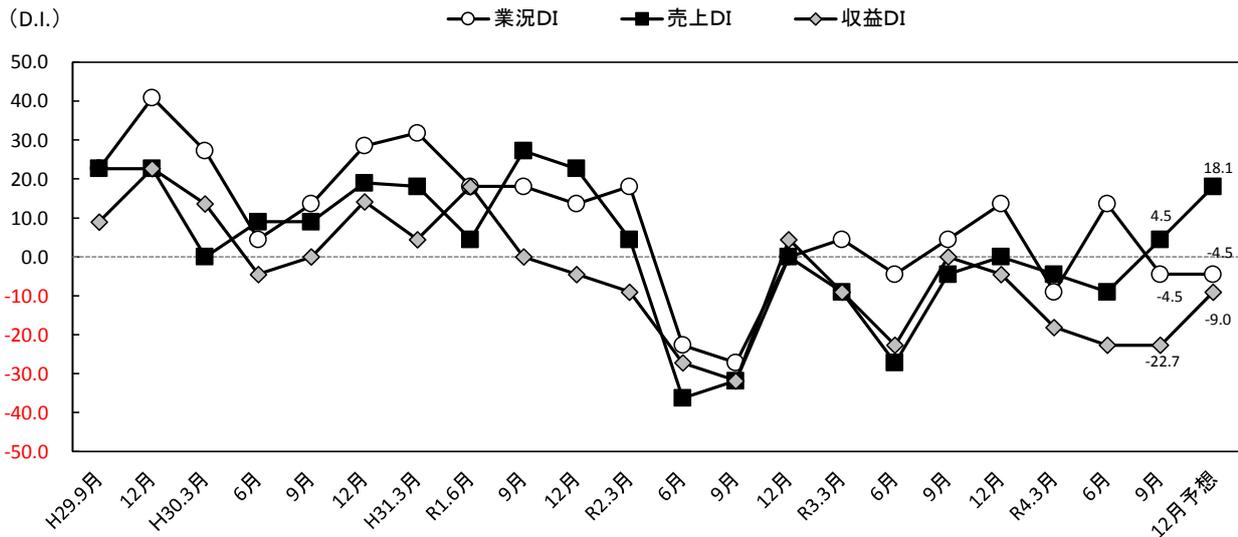
全域における業況DIは▲4.5となり、前期比18.1ポイント下降、前年同期比9.0ポイント下降となっています。売上DIは4.5となり、前期比13.5ポイント上昇、前年同期比9.0ポイント上昇となっています。収益DIは▲22.7となり、前期と同水準、前年同期比22.7ポイント下降となっています

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期と同水準、前年同期比20.0ポイント下降、大分地区が11.1となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比22.2ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期比37.5ポイント下降、前年同期比37.5ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは▲4.5となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは18.1となり、今期比13.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲9.0となり、今期比13.7ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が11.1、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

材料価格の上昇	31.5%
同業者間の競争激化	14.0%
利幅縮小	14.0%
人手不足	10.5%
売上停滞・減少	5.2%

最重要経営施策

経費節減	23.5%
技術力向上	21.5%
情報力強化	19.6%
販路拡大	15.6%
人材確保	9.8%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・新型コロナウイルスの影響により売上は減少傾向にある。
- ・災害復旧工事の受注が好調である。今後は原材料価格の高騰により収益が悪化することが懸念される。
- ・受注は増加傾向だが、資金繰りに余裕はない。
- ・原材料の値上がりで利幅が減少している。
- ・受注も安定しており、資金繰りにも懸念ない。しかし、大型工事の案件が少ないため今後は営業をかけていく。
- ・受注は確保できているが材料費等の値上がりの影響が大きい。
- ・前期に比べ業況はやや悪くなっている。請負価格が下降したことや、下請けの確保が難しいことが問題である。

不動産業

● 当期(7月～9月)の景況

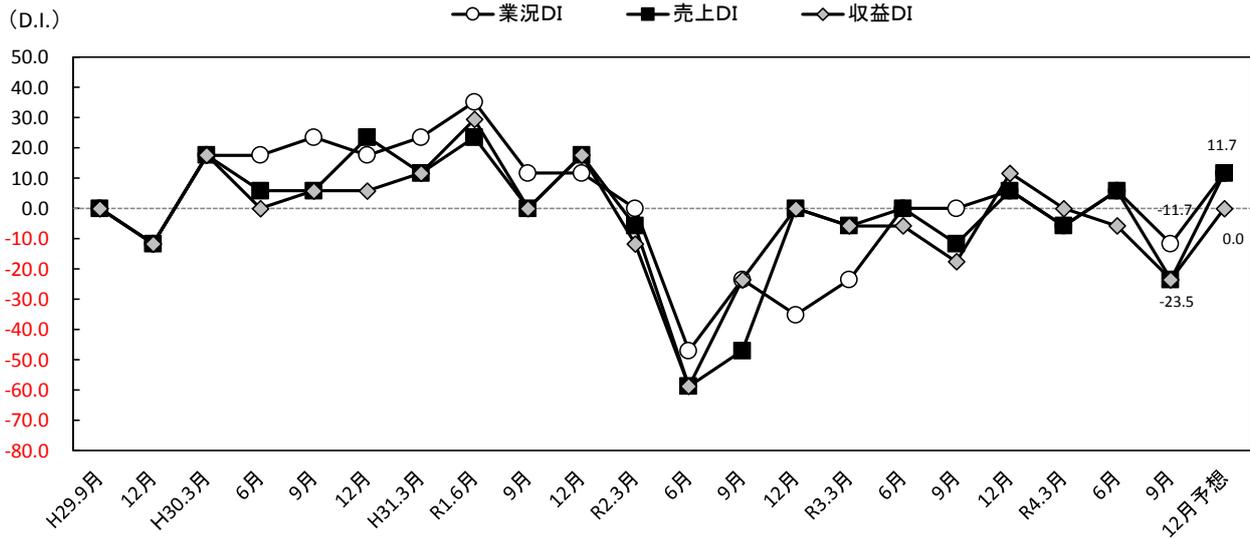
全域における業況DIは▲11.7となり、前期比17.5ポイント下降、前年同期比11.7ポイント下降となっています。売上DIは▲23.5となり、前期比29.3ポイント下降、前年同期比11.8ポイント下降となっています。収益DIは▲23.5となり、前期比17.7ポイント下降、前年同期比5.9ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲14.2となり、前期比28.4ポイント下降、前年同期比14.2ポイント下降、大分地区が0.0となり、前期比16.6ポイント上昇、前年同期と同水準、県北地区が▲25.0となり、前期比50.0ポイント下降、前年同期比25.0ポイント下降となっています。

● 来期(10月～12月)の見通し

全域における業況予想DIは11.7となり、今期比23.4ポイント上昇となっています。売上予想DIは11.7となり、今期比35.2ポイント上昇となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比23.5ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が0.0、大分地区が16.6、県北地区が25.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

同業者間の競争激化	19.3%
商品物件不足	16.1%
商品物件高騰	16.1%
売上停滞・減少	12.9%
利幅縮小	9.6%

最重要経営施策

情報力強化	21.4%
経費節減	21.4%
宣伝・広告強化	14.2%
販路拡大	14.2%
特になし	10.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- ・コロナ禍の営業が続いているが、引き続き情報収集に努め売上を確保していきたい。
- ・人件費の削減や、売上の増加に向けた対策を実施していく。
- ・原材料高騰への対応を検討している。
- ・不動産価格の高騰に続き、情報も不足している。

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 26.0	△ 22.5	△ 40.0	△ 28.0	△ 25.0	△ 4.5	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 21.9	△ 25.8	△ 36.6	△ 28.0	△ 18.3	△ 4.5	11.7
売上	7月～9月実績	△ 8.4	0.0	△ 16.6	△ 8.0	△ 5.0	4.5	△ 23.5
	10月～12月予想	△ 7.0	△ 12.9	△ 25.0	20.0	△ 11.6	18.1	11.7
受注残	7月～9月実績	3.8	9.6	***	***	***	△ 4.5	***
	10月～12月予想	1.9	6.4	***	***	***	△ 4.5	***
施工高	7月～9月実績	4.5	***	***	***	***	4.5	***
	10月～12月予想	13.6	***	***	***	***	13.6	***
収益	7月～9月実績	△ 24.2	△ 25.8	△ 40.0	△ 24.0	△ 8.3	△ 22.7	△ 23.5
	10月～12月予想	△ 20.5	△ 9.6	△ 41.6	△ 8.0	△ 20.0	△ 9.0	0.0
販売価格	7月～9月実績	18.1	19.3	20.0	44.0	10.0	13.6	5.8
	10月～12月予想	19.5	22.5	18.3	36.0	13.3	18.1	11.7
仕入価格	7月～9月実績	53.5	64.5	50.0	64.0	51.6	72.7	11.7
	10月～12月予想	47.4	58.0	46.6	56.0	38.3	68.1	23.5
在庫	7月～9月実績	1.3	6.4	3.3	△ 8.0	***	4.5	△ 5.8
	10月～12月予想	0.0	3.2	0.0	△ 8.0	***	4.5	0.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 16.7	△ 22.5	△ 35.0	△ 8.0	△ 6.6	△ 9.0	0.0
	10月～12月予想	△ 13.1	△ 12.9	△ 28.3	△ 8.0	△ 8.4	△ 4.5	5.8
残業時間	7月～9月実績	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	△ 4.5	0.0
	10月～12月予想	0.5	0.0	1.6	0.0	△ 1.6	0.0	5.8
人手状況	7月～9月実績	△ 12.1	△ 6.4	△ 8.3	△ 8.0	△ 13.3	△ 31.8	△ 11.7
	10月～12月予想	△ 12.1	△ 6.4	△ 8.4	△ 8.0	△ 13.3	△ 31.8	△ 11.7

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 29.7	△ 25.0	△ 57.6	△ 33.3	△ 14.2	0.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 27.5	△ 37.5	△ 50.0	△ 22.2	△ 14.2	0.0	0.0
売上	7月～9月実績	1.1	18.7	△ 19.2	11.1	7.1	40.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 5.5	△ 12.5	△ 30.7	44.4	△ 3.5	40.0	0.0
受注残	7月～9月実績	14.3	12.5	***	***	***	20.0	***
	10月～12月予想	4.8	6.2	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	40.0	***	***	***	***	40.0	***
	10月～12月予想	40.0	***	***	***	***	40.0	***
収益	7月～9月実績	△ 20.9	△ 25.0	△ 50.0	△ 11.1	3.5	0.0	△ 28.5
	10月～12月予想	△ 20.9	△ 6.2	△ 53.8	0.0	△ 10.7	0.0	△ 14.2
販売価格	7月～9月実績	23.1	18.7	19.2	55.5	14.2	40.0	28.5
	10月～12月予想	24.2	25.0	19.2	55.5	14.2	40.0	28.5
仕入価格	7月～9月実績	60.4	62.5	57.6	77.7	57.1	80.0	42.8
	10月～12月予想	54.9	50.0	53.8	77.7	50.0	80.0	42.8
在庫	7月～9月実績	1.6	6.2	3.8	△ 11.1	***	20.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 3.2	6.2	△ 7.6	△ 11.1	***	20.0	△ 14.2
資金繰り	7月～9月実績	△ 23.1	△ 37.5	△ 53.8	0.0	0.0	△ 20.0	0.0
	10月～12月予想	△ 20.9	△ 18.7	△ 50.0	0.0	△ 7.1	△ 20.0	0.0
残業時間	7月～9月実績	1.1	6.2	0.0	11.1	0.0	△ 20.0	0.0
	10月～12月予想	0.0	6.2	0.0	0.0	0.0	△ 20.0	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 11.0	6.2	△ 11.5	△ 11.1	△ 10.7	△ 60.0	△ 14.2
	10月～12月予想	△ 9.9	6.2	△ 7.6	△ 11.1	△ 10.7	△ 60.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 17.9	△ 20.0	△ 15.3	△ 20.0	△ 32.1	11.1	0.0
	10月～12月予想	△ 13.1	△ 20.0	△ 19.2	△ 20.0	△ 17.8	11.1	16.6
売上	7月～9月実績	△ 10.7	△ 20.0	△ 7.6	0.0	△ 17.8	0.0	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 11.9	△ 20.0	△ 19.2	0.0	△ 21.4	11.1	16.6
受注残	7月～9月実績	0.0	20.0	***	***	***	△ 11.1	***
	10月～12月予想	0.0	20.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	7月～9月実績	△ 11.1	***	***	***	***	△ 11.1	***
	10月～12月予想	0.0	***	***	***	***	0.0	***
収益	7月～9月実績	△ 23.8	△ 40.0	△ 26.9	△ 30.0	△ 17.8	△ 22.2	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 25.0	△ 40.0	△ 30.7	△ 20.0	△ 28.5	△ 11.1	0.0
販売価格	7月～9月実績	14.3	40.0	15.3	40.0	7.1	11.1	△ 16.6
	10月～12月予想	9.5	40.0	11.5	30.0	0.0	11.1	△ 16.6
仕入価格	7月～9月実績	50.0	100.0	38.4	60.0	46.4	88.8	0.0
	10月～12月予想	39.3	100.0	34.6	50.0	25.0	77.7	0.0
在庫	7月～9月実績	0.0	20.0	0.0	0.0	***	0.0	△ 16.6
	10月～12月予想	1.8	0.0	3.8	0.0	***	0.0	0.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 9.5	△ 20.0	△ 11.5	△ 10.0	△ 14.2	11.1	0.0
	10月～12月予想	△ 6.0	△ 20.0	△ 3.8	△ 10.0	△ 11.1	11.1	0.0
残業時間	7月～9月実績	△ 1.2	0.0	△ 3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 3.5	11.1	0.0
人手状況	7月～9月実績	△ 11.9	△ 20.0	0.0	0.0	△ 21.4	△ 22.2	△ 16.6
	10月～12月予想	△ 13.3	△ 20.0	△ 4.0	0.0	△ 21.4	△ 22.2	△ 16.6

県北地区

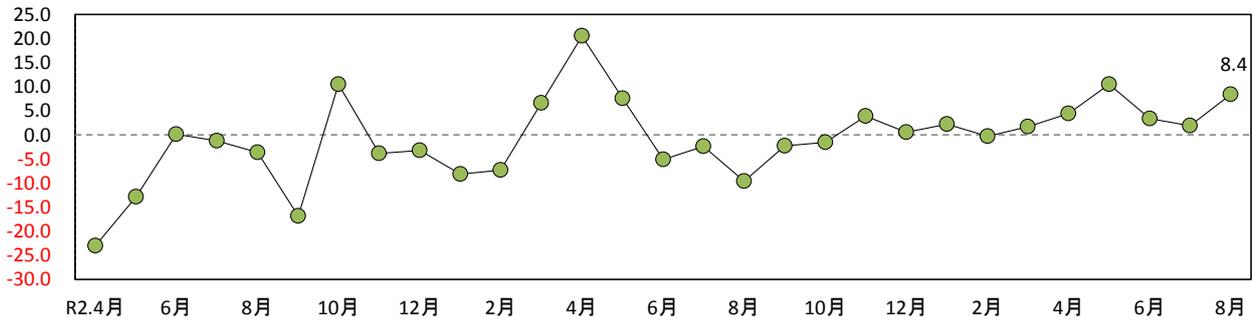
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	7月～9月実績	△ 35.0	△ 20.0	△ 62.5	△ 33.3	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0
	10月～12月予想	△ 27.5	△ 10.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	25.0
売上	7月～9月実績	△ 25.0	△ 20.0	△ 37.5	△ 50.0	0.0	△ 12.5	△ 25.0
	10月～12月予想	0.0	△ 10.0	△ 25.0	16.6	0.0	12.5	25.0
受注残	7月～9月実績	△ 5.6	0.0	***	***	***	△ 12.5	***
	10月～12月予想	0.0	0.0	***	***	***	0.0	***
施工高	7月～9月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	10月～12月予想	12.5	***	***	***	***	12.5	***
収益	7月～9月実績	△ 32.5	△ 20.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 37.5	△ 25.0
	10月～12月予想	△ 10.0	0.0	△ 37.5	0.0	△ 25.0	△ 12.5	25.0
販売価格	7月～9月実績	15.0	10.0	37.5	33.3	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	17.5	10.0	37.5	16.6	0.0	12.5	25.0
仕入価格	7月～9月実績	45.0	50.0	62.5	50.0	50.0	50.0	△ 25.0
	10月～12月予想	47.5	50.0	62.5	33.3	50.0	50.0	25.0
在庫	7月～9月実績	2.8	0.0	12.5	△ 16.6	***	0.0	25.0
	10月～12月予想	2.8	0.0	12.5	△ 16.6	***	0.0	25.0
資金繰り	7月～9月実績	△ 17.5	0.0	△ 50.0	△ 16.6	0.0	△ 25.0	0.0
	10月～12月予想	△ 10.0	0.0	△ 37.5	△ 16.6	0.0	△ 12.5	25.0
残業時間	7月～9月実績	0.0	△ 10.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	10月～12月予想	2.5	△ 10.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
人手状況	7月～9月実績	△ 15.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 16.6	25.0	△ 25.0	0.0
	10月～12月予想	△ 15.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 16.6	25.0	△ 25.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和4年8月の大型小売店販売額は前年同月比8.4%増加となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

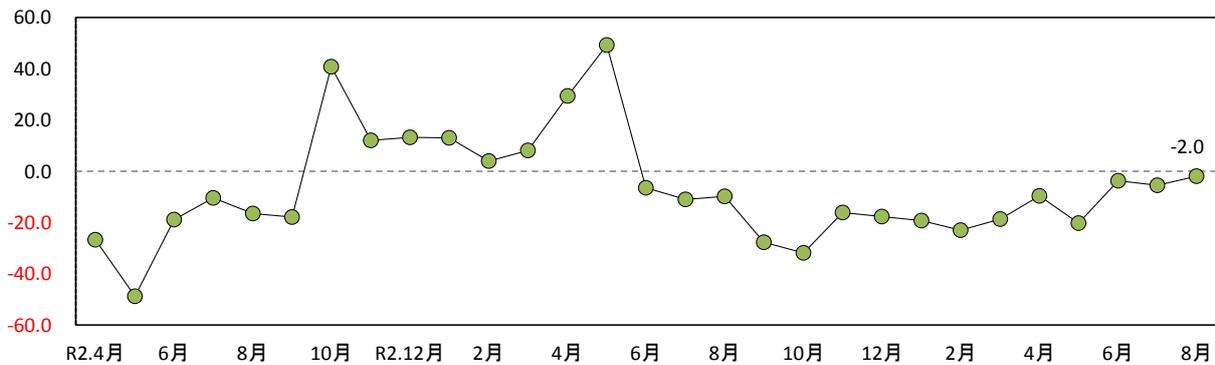


県内新車販売台数

令和4年8月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)3,142台で前年同月を2.0%下回りました。車種別では、普通乗用車が790台で前年同月比13.8%減少、小型乗用車が672台で前年同月比9.9%減少となりました。また、軽四輪車の合計は1,453台で前年同月比12.8%増加となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

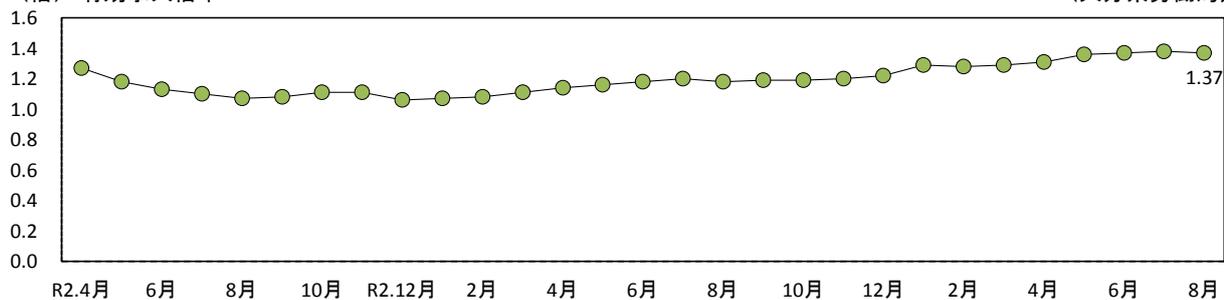


県内有効求人倍率

令和4年8月の有効求人倍率は、1.37倍(前月比▲0.01ポイント)となりました。地域別で見ると、大分管内1.59倍(前月比+0.06ポイント)、別府管内0.96倍(前月比▲0.01ポイント)、中津管内1.32倍(前月比▲0.12ポイント)となっています。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

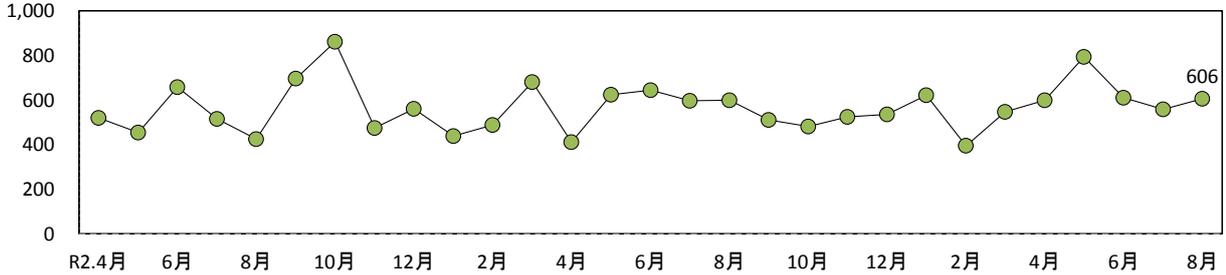


県内新設住宅着工戸数

令和4年8月の住宅着工戸数は606戸でした。そのうち、持家は236戸、貸家は258戸、分譲住宅は91戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



観光動向

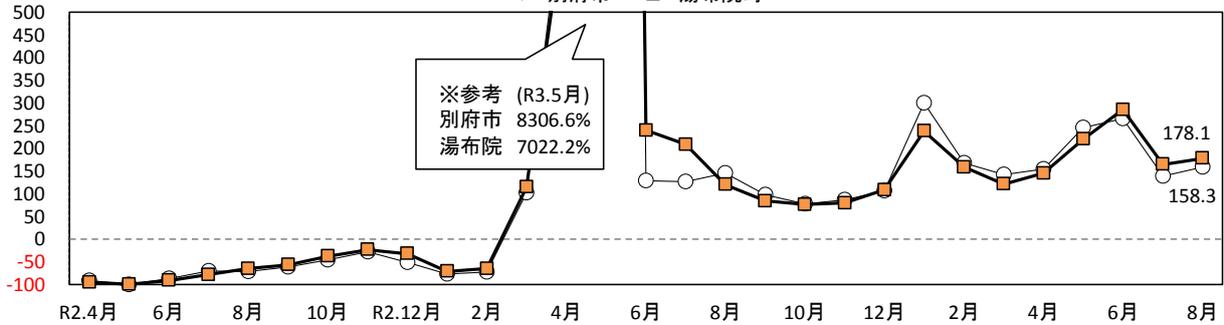
令和4年8月の宿泊人員は、前年同月比で、別府地区158.3%増加、湯布院地区178.1%増加となっています。

※令和3年4月以降の数値について、一部値が突出しており、これまでの推移が分かりにくいいため、グラフ外としています。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○別府市 □湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

帝国データバンクの調査によると、令和4年9月の県内の企業倒産件数は3件で249百万円でした。令和4年の累計は30件5,396百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

金額

件数

帝国データバンク調 (件)

